

第47678号

(日刊)



満願成就祈り「火渡り」

左京・瑞光院 開山60年記念し大祭

京都市左京区鹿ヶ谷の瑞光院で16日、開山60周年を記念した柴燈大護摩大祭と火渡り修行が営まれた。僧侶や山伏が護摩木をたき、参拝者が灰になった護摩壇の上を歩いて願いの成就を祈った。

瑞光院は高野山真言宗の寺院として1954年に開かれた。災難よけや厄よけの信仰を

灰になった護摩壇の上を裸足で渡る参拝者たち(京都市左京区・瑞光院)撮影・三木千絵

集める。

大祭では、松尾祥雄任職が「昨年9月の台風で境内が被害を受けたが、みなさんの力をいただいで復興できた」と感謝の言葉を述べた。ヒノキを重ねた護摩壇に点火すると、勢いよく煙が立ち上り、家内安全や先祖供養を祈願した護摩木を次々と入れた。

護摩壇が燃え上がった後、僧侶たちはまだ火が残る中を素足で渡る修行を行った。参拝者も素足になって火渡りを体験し、満願成就を祈っていた。

(中村幸恵)



11月17日 月曜日



京都新聞社
The Kyoto Shimbun Co., Ltd.

発行所 〒604-8577
京都市中京区烏丸通夷川上ル